



女性研究者育成戦略について ～スタートアップ助教の創設～

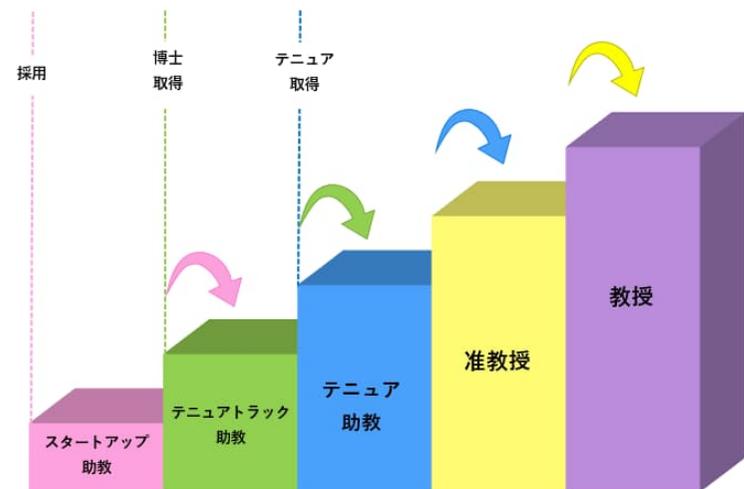
名古屋工業大学では、助教として採用すると同時に、在職中に博士後期課程において博士の学位を取得する、女性研究者育成制度を創設した。

本制度は、これまで博士後期課程に進学せず就職していた優秀な女性の修士課程学生に、アカデミアの研究者を目指す機会を提供することにより、優れた女性研究者の裾野拡大に資するとともに、本学におけるダイバーシティ・インクルージョン環境をより一層推進し、研究力強化を図る目的で創設するものである。

制度概要

- ①博士前期課程（修士課程）修了見込み者（修了者を含む。）で、在職中に博士の学位を取得し、テニユア助教（任期付のテニユアトラック助教を経る）を目指す若手の女性を対象に国際公募を行い、専ら研究業務を行う「スタートアップ助教」として採用する。
- ②任期は5年。若手研究イノベータ養成センターで育成する。
職名：助教（大学内では「スタートアップ助教」）
任期：5年、再任なし（海外派遣した場合は1年延長可）
給与：年俸制
研究環境：研究費を毎年35万円（初年度はスタートアップ経費を40万円加算）配分、個人研究室を措置し、在外研究員制度により海外研究機関での研究（最長1年間）が可能。
- ③任期中に、博士の学位取得を目指しつつ、更に研究業績を積み、テニユアトラック助教（任期はスタートアップ助教から通算して10年）として採用する。
- ④テニユア審査に合格すればテニユアを取得する。
- ⑤その後、在職中の研究業績に応じて、准教授、教授への昇任が可能である。

〔スタートアップ助教のキャリアパス〕



スタートアップ助教には、メンター（指導、助言）やアドバイザー（キャリア形成、教育・研究など様々な疑問や悩みを解決）がつき、研究者としての自立を支援する。

